

成田赤十字病院を受診された入院・外来患者さんへ

当院では下記の研究を実施しております。本研究の対象者に該当する方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	在宅酸素療法導入時、呼吸同調器の有無による経皮的酸素飽和度及び呼吸困難感の影響について
当院の研究責任者	矢萩 貴紀 (リハビリテーション科)
本研究の目的	在宅酸素療法導入時、携帯型酸素ポンペの使用時間延長のため、呼吸同調器を用いる事が一般的である。しかしながら、呼吸同調器を用いる事で、労作時の酸素化悪化を招くことを経験する。そこで、当院へ急性呼吸不全入院後、HOT 導入に至った症例を対象に、呼吸同調器の有無が SpO ₂ や呼吸困難感 (CR-10) にどう影響するか検討することを目的とした。
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さん 当院に急性呼吸不全で入院後、在宅酸素療法が処方された方 ●利用する情報の項目 入院患者さん対象 ①診療記録より以下の情報を使用します。 被験者背景・入院日・退院日・疾患名・併存疾患・血液検査・肺機能検査・6分間歩行試験による経皮的酸素飽和度・呼吸困難感・6分間歩行距離・身体機能 ②理学療法 (リハビリテーション) 記録より 理学療法士が、リハビリテーション終了時に上記情報項目を使用します ●開始予定日 令和5年7月1日開始予定、対象期間は令和5年7月1日から2年間
試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法	当院にて診療の過程で得られた診療情報を使用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除され、研究事務局には一切提出いたしません。また、研究成果は学会等で公表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	研究者は、本研究の実施や報告の際に、金銭的な利益やそれ以外の個人的な利益のためにその専門的な判断を曲げるようなことは一切ありません。
試料/情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	成田赤十字病院 院長 青墳信之
お問い合わせ先	成田赤十字病院 リハビリテーション科 矢萩貴紀 電話番号：0476-22-2311 (代表番号)